

◆ 藤高クオリティ ◆



長かった梅雨がようやく明けた8月1日、本校学校説明会を実施した。

先月末に、「茨城版コロナNext Ver.2」でのStageが1段階引き上げられ、Stage3となったが、「学校活動は通常どおり」とのこと。有り難いことに約1,000名の皆さんにご参加いただいた。感染症対策徹底のため、会場である取手市民会館の客席に余裕を持たせた形で3回に分けた説明会とした。

例年の説明会では、生徒が本校の魅力を語る形であるが、この状況下である。参加してもらったのは生徒会の皆さんのみ。それでも、今、本校で学ぶ誇りや、生徒会活動について、また伝統のある海外派遣プログラムへ参加している喜びなどを自らの言葉でしっかり語ってくれた。本校は、大変学校行事の多い高校であるが、その魅力も十分伝わったのではないだろうか。

今年度作成した「[本校グランドデザイン](#)」では、本校の現状分析の一つとして、本校生の優しさ、素直さ、その結果として落ち着いた学校生活が期待できることを示している。今回の説明会においても、この点について私から話をさせてもらった。帰宅しようとしていた時であるが、ある女子生徒さんとすれ違った。その際、「気をつけて帰ってね」と声をかけると「先生も気をつけてください」と、自然に声をかけてくれたエピソードも紹介した。本校には、このような優しさがいたるところにある。

また、この臨時休業期間中、先生方は全日制県立高校平均のおよそ2倍の配信動画を作成し、誠実に生徒の皆さんに向かい合ってきた。電話の向こうの不安な心に寄り添い、ただ頷く姿を何度も見てきた。

このような点を「**藤代高校クオリティ（藤高クオリティ）**」と呼びたいと思う。本校はこのクオリティの向上を目指す、そんな学校でありたい。



さて、説明会でも触れていたが、本校体育祭ではフォークダンスが伝統的に受け継がれている。“Oklahoma Mixer”の響きはとてもノスタルジックだ。こんなところにも「**藤高クオリティ**」は、ある。